
神奈川大学大学院法学研究科では、2025 年度より、2 つの履修モデルがスタートします。

① 医事法履修モデル

② 高齢者法・政策履修モデル

これらは、現在の喫緊の社会課題に応える実践的なモデルであると同時に、法学・政治学やその他の分野の横断や実務家との協働を通じて、理論や知のあり方に新しい地平を開くものです。

そのような新しいタイプの研究を可能にするための科目も新設します。

① 医事法履修モデル

医事法は医療に関する法律問題とそれを考究する学問の総称です。医療事故を題材とした研究も、治療の中止や安楽死に関する研究も、医薬品の治験や臨床研究に関する研究も、すべて「医事法」研究であるといえます。

そこで、現在準備中の新規履修モデル「医事法履修モデル」では、いくつか想定できる研究テーマに応じ、3 つのモデルを提示することとしました。

「医療と制度」モデル

医療提供施設に関する法制度、医療に関する物的資源（医薬品、医療機器など）に関する法制度、医療従事者に関する法制度に関連するテーマについて研究することを念頭においた皆さんのための履修モデルです。

- ・医師と医師以外の医療従事者の業務分担
- ・チーム医療、在宅医療における医療従事者の役割
- ・感染症対策としてのワクチン接種と補償

「医療と権利」モデル

医療事故（医療過誤）に関する法を中心として、リスクマネジメントや紛争解決手段なども含めた医療安全に関して学びたい皆さんのための履修モデルです。

- ・医療過誤訴訟に関する研究
- ・医療 ADR など含めた紛争解決のあり方

「医療と安全」モデル

人とは、生命とは、死ぬこととは何なのだろうか。人にとって根源的かつ普遍的な問題が、やや特殊な医療との間で立ち上がることがあります。

このモデルは、そのような問題を通じて、医療における人やその権利について考察したい皆さんのための履修モデルです。

- ・終末期医療（安楽死、治療の中止）
- ・生殖補助医療と家族関係
- ・子どもに対する医療にまつわる問題
- ・移植医療に関する法規制
- ・精神医療における人権保障

新設科目

「医事法特講」 医事法分野に特化した総合的な学び

「医事法論点研究」 民事法に加え、刑法・行政法の専門家との協働

※これらの新設科目に加え、既存の研究スキル特講や法学・政治学特講などの科目を履修することにより、法的思考力や論文の執筆のためのスキルを学ぶことができます。

② 高齢者法・政策履修モデル

【基本方針コンセプト】

＊高齢者の実務に携わる国・自治体の職員、弁護士・司法書士・行政書士・社会保険労務士・社会福祉士・精神保健福祉士・保健師・介護士などの専門職や高齢者の実務に関心のある方を対象として、理論と実務を架橋する修士課程教育を提供します。

＊高齢者の福祉・医療・介護・雇用・所得保障（年金）、成年後見・意思決定・居住・終活の支援、消費者保護、触法・被災高齢者の対策などについて実務上の課題を直視し、実務に活かすことができる知見・法的思考力・政策立案力を身に着ける教育・研究環境を提供します。

＊高齢社会・学際演習をはじめとして、法学以外の他の研究科の科目などを履修することで、分野横断的な知識を身に着けることができます。

【履修モデルの特徴】

＊高齢者法という学問分野の特徴から、法学・老年学・社会福祉学・心理学・医学などの学際的視点を考慮し、法的素養と政策立案力を養成し、セオリーとスキルの両面が融合する教育を提供します。

＊高齢社会・学際演習により、法学以外の分野を含めた分野横断的な学びを提供します。

＊共通科目の研究スキル特講や法学・政治学特講などの科目によって、法的思考力や論文の執筆のためのスキルを基礎から教育します。

＊基幹科目と発展科目によって、実務に活かすことができる知見・法的思考力や政策立案力を身に付けることができます。

新設科目

「高齢者法Ⅰ・Ⅱ」 高齢者法に関する総合的な学び

総論・・・高齢社会の現状、高齢者法の目的・機能、法理念、沿革、内容・特質等

各論・・・高齢者法にかかわる具体的なテーマを設定して検討

「高齢社会・学際演習」

受講者が高齢者法の特質を考慮しながら、高齢社会の法律問題の課題を発見し論理的に考え、知見・法的思考力・政策立案力を養うことに加えて、討論することができる能力を養うことを目的とした新しいタイプの科目です。老年学・社会福祉学・心理学・医学など、多分野の専門家と協働する発展的な科目です。

※これらの新設科目に加え、既存の研究スキル特講や法学・政治学特講などの科目を履修することにより、法的思考力や論文の執筆のためのスキルを学ぶことができます。

※本研究科には、高齢者法や政策に関係したテーマを研究している教員が 4 人おり、それぞれが提供している専門科目を履修することにより、総合的で発展的な研究を行うことができます。